



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 アネスト岩田株式会社

コード番号 6381

URL <http://www.anest-iwata.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)壺田 貴弘

問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)飯田 紀之 TEL 045-591-1182

四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,706	26.2	418	—	460	446.9	329	586.0
22年3月期第1四半期	3,728	△38.8	△36	—	84	△88.6	47	△88.5

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	7	25	—	—
22年3月期第1四半期	1	04	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	23,933	—	17,364	—	69.8	367	71	
22年3月期	24,140	—	17,440	—	69.4	368	81	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 16,693百万円 22年3月期 16,743百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
22年3月期	—	0 00	—	5 00	5 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	3 00	—	4 00	7 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	10,000	21.5	850	285.2	900	156.9	550	306.1	12	11
通期	21,000	17.4	1,800	100.8	1,850	67.7	1,100	54.6	24	23

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 — 社（ — ）、除外 — 社（ — ）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	46,165,505株	22年3月期	46,165,505株
23年3月期1Q	766,218株	22年3月期	765,857株
23年3月期1Q	45,399,378株	22年3月期1Q	46,132,437株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P2
2. その他の情報	P3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P3
3. 四半期連結財務諸表	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書	P5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P6
(4) 継続企業の前提に関する注記	P7
(5) セグメント情報	P7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の回復や消費促進策などにより生産は回復してきましたが、雇用や所得の回復は遅れております。また世界経済は、米国の穏やか景気回復や新興国の堅調な景気拡大が進む一方で、ヨーロッパにおける金融不安が高まっています。

当業界においては、製造業の生産活動が回復し、設備投資にも回復の兆しが見えてきました。

このような状況のなか、当社グループは有望市場の開拓・深耕に積極的に経営資源を投入し、諸施策を実行してまいりました。

新製品開発におきましては、静電自動ガンGFA-E600-134X、省エネルギータイプの新形攪拌機 AMM-6RおよびAMM-611、平吹きエアブラシHP-TH2、低圧多風量コンプレッサHVLVシリーズ、高真空排気ユニットVTU-080等を開発・発売いたしました。

販売におきましては、新市場・新販路の開拓を図るため営業員の再配置やITツールの活用によりお客様への提案力の向上を図ってまいりました。

また、原価低減策の実行や経費の見直しを継続的に推進し、利益の確保に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高4,706百万円、営業利益418百万円、経常利益460百万円、四半期純利益329百万円となりました。前年同四半期連結累計期間対比では売上高が26.2%増加、営業利益は454百万円増加（前年同四半期連結累計期間は営業損失36百万円）、経常利益は446.9%増加、四半期純利益は586.0%増加し、増収増益となりました。

①セグメントの業績

3. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報をご覧ください。

②製品別売上高

(単位：千円)

製品区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		前年同四半期比増減	
	平成21年4月1日～平成21年6月30日		平成22年4月1日～平成22年6月30日		増減額	増減率(%)
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)		
圧縮機	1,774,436	47.6	2,103,326	44.7	328,890	18.5
真空機器	261,434	7.0	444,384	9.4	182,950	70.0
塗装機器	1,383,692	37.1	1,875,295	39.9	491,602	35.5
塗装設備	309,021	8.3	283,621	6.0	△25,400	△8.2
計	3,728,585	100.0	4,706,628	100.0	978,042	26.2

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末における総資産は23,933百万円（前連結会計年度末比△207百万円）、負債は6,568百万円（同△131百万円）、純資産は17,364百万円（同△75百万円）、自己資本比率は69.8%（同0.4ポイント増加）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年同四半期連結累計期間末に比べ1,689百万円増加し、5,341百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは219百万円（前年同四半期連結累計期間比227百万円増加）、投資活動によるキャッシュ・フローは990百万円（同2,490百万円増加）、財務活動によるキャッシュ・フローは△362百万円（同278百万円減少）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月11日の「平成23年3月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおり、第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。尚、平成23年3月期通期業績予想につきましては、現時点において変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

《簡便な会計処理》

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

#### ②棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。四半期連結会計期間末における棚卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法を採用しております。また、営業循環過程から外れた棚卸資産については、著しい変化がないと認められる限り前連結会計年度末時点における処分見込価格により計上する方法を採用しております。

#### ③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産の減価償却費につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

《表示方法の変更》

#### ①四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

《会計処理基準に関する事項の変更》

#### ①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取り扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取り扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

#### ②資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。当会計基準の適用開始により、期首に資産除去債務として3,200千円を固定負債のその他に計上しております。これにより税金等調整前四半期純利益は3,200千円減少しております。

#### ③企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,644,627	5,307,869
受取手形及び売掛金	4,036,950	4,071,844
商品及び製品	1,644,146	1,505,157
仕掛品	103,573	108,513
原材料及び貯蔵品	1,020,808	957,996
繰延税金資産	365,949	512,568
その他	678,288	510,913
貸倒引当金	△21,126	△20,205
流動資産合計	13,473,217	12,954,658
固定資産		
有形固定資産	5,618,407	5,665,478
無形固定資産	62,721	66,668
投資その他の資産		
投資有価証券	3,102,734	3,140,934
繰延税金資産	961,411	859,136
その他	745,912	1,485,606
貸倒引当金	△31,136	△31,979
投資その他の資産合計	4,778,921	5,453,698
固定資産合計	10,460,050	11,185,844
資産合計	23,933,268	24,140,502
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,185,125	1,982,865
短期借入金	61,463	159,558
未払法人税等	62,233	61,727
賞与引当金	290,880	592,673
その他の引当金	110,081	114,694
その他	1,118,788	969,747
流動負債合計	3,828,571	3,881,266
固定負債		
長期借入金	66,104	72,400
繰延税金負債	7,481	7,600
退職給付引当金	2,182,138	2,252,547
その他	484,127	485,882
固定負債合計	2,739,851	2,818,431
負債合計	6,568,423	6,699,698
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,354,353	3,354,353
資本剰余金	1,380,380	1,380,380
利益剰余金	12,708,121	12,606,035
自己株式	△252,947	△252,827
株主資本合計	17,189,907	17,087,942
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△80,547	77,593
為替換算調整勘定	△415,544	△421,801
評価・換算差額等合計	△496,091	△344,207
少数株主持分	671,029	697,070
純資産合計	17,364,845	17,440,804
負債純資産合計	23,933,268	24,140,502

## (2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,728,585	4,706,628
売上原価	2,324,193	2,785,341
売上総利益	1,404,391	1,921,286
販売費及び一般管理費	1,440,409	1,502,565
営業利益又は営業損失(△)	△36,018	418,720
営業外収益		
受取利息及び配当金	28,180	33,591
為替差益	34,453	—
持分法による投資利益	30,822	38,249
その他	38,758	30,906
営業外収益合計	132,214	102,747
営業外費用		
支払利息	7,672	1,227
為替差損	—	50,896
その他	4,388	9,192
営業外費用合計	12,061	61,315
経常利益	84,135	460,152
特別利益		
投資有価証券売却益	—	45,280
貸倒引当金戻入額	1,561	374
その他	3,922	34,431
特別利益合計	5,484	80,085
特別損失		
その他	24,719	3,667
特別損失合計	24,719	3,667
税金等調整前四半期純利益	64,900	536,569
法人税、住民税及び事業税	11,370	39,218
法人税等調整額	5,865	152,615
法人税等合計	17,235	191,833
少数株主損益調整前四半期純利益	—	344,735
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△309	15,651
四半期純利益	47,973	329,083

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	64,900	536,569
減価償却費	158,688	140,644
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,219	4,056
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△288,055	△301,601
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△17,061	4,963
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△62,333	△67,067
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,172	△9,322
受取利息及び受取配当金	△28,180	△33,591
支払利息	7,672	1,227
持分法による投資損益 (△は益)	△30,822	△20,840
固定資産除売却損益 (△は益)	1,416	438
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	—	△45,280
売上債権の増減額 (△は増加)	789,484	△3,735
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,672	△225,968
仕入債務の増減額 (△は減少)	△525,531	229,960
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△30,817	24,235
その他	△24,670	24,306
小計	△21,374	258,994
利息及び配当金の受取額	28,180	33,591
利息の支払額	△7,672	△1,227
法人税等の支払額	△7,051	△72,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,917	219,129
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△1,400,000	1,300,000
有形固定資産の取得による支出	△77,915	△128,717
有形固定資産の売却による収入	6,132	131
投資有価証券の取得による支出	—	△206,406
投資有価証券の売却による収入	—	73,597
貸付けによる支出	—	△1,304
貸付金の回収による収入	1,356	1,364
出資金の払込による支出	—	△47,937
その他	△29,636	△143
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,500,063	990,583
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	31,013	△84,368
リース債務の返済による支出	△5,594	△20,156
長期借入金の返済による支出	△13,591	△13,645
自己株式の取得による支出	△610	△120
自己株式の売却による収入	227	—
配当金の支払額	△92,838	△231,488
少数株主への配当金の支払額	△1,850	△12,290
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,245	△362,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,817	△13,932
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,558,409	833,710
現金及び現金同等物の期首残高	5,210,922	4,507,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,652,512	5,341,579



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

当社および連結子会社は、販売市場、製品用途等の類似性から判断して同種・同系列の圧縮機、真空機器、塗装機器及び塗装設備を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報の記載をしておりません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) (単位：千円)

	日本	ヨーロッパ	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,715,251	341,156	672,177	3,728,585	—	3,728,585
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	340,742	12,106	13,745	366,594	(366,594)	—
計	3,055,993	353,263	685,922	4,095,179	(366,594)	3,728,585
営業利益又は営業損失(△)	81,376	△3,378	△20,400	57,597	(93,615)	△36,018

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) ヨーロッパ……イタリア・フランス・イギリス・スウェーデン・スペイン

(2) その他の地域……アメリカ・インド・中国・タイ・韓国・オーストラリア

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	405,508	506,445	411,382	1,323,336
II 連結売上高(千円)				3,728,585
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.9	13.6	11.0	35.5

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) ヨーロッパ……イタリア・フランス・イギリス

(2) アジア……中国・インド・韓国・タイ

(3) その他の地域……アメリカ・オーストラリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域向けの売上高であります。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能で

あり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、圧縮機、真空機器、塗装機器及び塗装設備を専ら製造販売しており、国内においては当社及び国内連結子会社が、海外においてはヨーロッパ（主にイタリア・フランス・ドイツ）、アジア（主に中国・インド・韓国）等の各地域をそれぞれの現地法人が担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、それぞれの取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは生産・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「ヨーロッパ」、及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他（注）	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,446,144	493,491	376,626	4,316,262	390,365	4,706,628
セグメント間の内部売上高又は振替高	553,769	12,596	10,491	576,857	6,422	583,280
計	3,999,914	506,087	387,117	4,893,119	396,788	5,289,908
セグメント利益	476,326	65,562	22,377	564,267	7,920	572,187

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びアメリカの現地法人の事業活動であります。

## 3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	564,267
「その他」区分の利益	7,920
セグメント間取引消去	△ 20,600
全社費用（注）	△ 132,866
四半期連結損益計算書の営業利益	418,720

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。